

琉球 植物

～南国に生きる植物～

入園無料日

5/4 (土・祝)
みどりの日

5/18 (土)
国際博物館の日

国立科学博物館 筑波実験植物園

2019年

5/3 [金・祝] ▶ 5/19 [日]

休園日:
5/7(火)、5/13(月)

開園時間:9:00-17:00
(入園は16:30まで)

琉球植物

～南国に生きる植物～

琉球列島とは、九州と台湾の間に連なる島々の総称で、ほとんどの島々は冬でも暖かい亜熱帯となります。琉球列島には乾燥した海岸や湿潤な溪流沿いなど様々な環境があり、それぞれの環境に適応した植物が生きています。この琉球列島は日本で最も植物種の多様性が高い地域ですが、残念なことに絶滅危惧植物の集中する地域ともなっています。企画展では琉球列島に生きる植物を知っていただき、生物多様性の大切さを感じていただければ幸いです。



ハママンネグサ



ツルウリクサ



テンノメ



マルバハタケムシロ



タイワンシンラン

公開シンポジウム

琉球に生きる植物たち 日時:5月19日(日)13:00~15:00

「世界自然遺産候補地の琉球列島の植物相について」
琉球大学 理学部 海洋自然科学科 横田昌嗣

「琉球の植物の起源」
北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 植物園 中村剛

「不思議な琉球のマンネグサー特殊な生態と実体」
京都大学大学院 農学研究科 森林科学専攻 伊東拓朗

「なぜそんなに多様なのか?—琉球に生きるカンアオイ類の秘密—」
国立科学博物館 筑波実験植物園 奥山雄大

会場:研修展示館3階セミナー室 事前予約不要 定員:30名

展示案内

日時:5月5日(日)・5月18日(土)
各日とも13:30~14:00

講師:国立科学博物館 筑波実験植物園
國府方吾郎

事前予約不要 集合場所:研修展示館1階



アクセス情報

電車・バス つくばエクスプレス「つくば」駅より関東鉄道バス テクノパーク大穂行き「筑波実験植物園前」下車徒歩3分
または筑波大学循環(左回り)「天久保2丁目」下車徒歩10分

自動車 常磐自動車道 桜土浦I.C.から北(筑波山方面)へ約8km
圏央道 つくば中央I.C.から約7km 無料駐車場 約120台

